



町有林を間伐



間伐材を丸太で集積



必要に応じてチップ製造



製造の都度、サイロへ搬入

木質バイオマスとは

バイオマスとは「再生可能な有機性資源（石油などの化石燃料を除く）」のこと。その中で、木材から作られるバイオマスのことを木質バイオマスと呼びます。

木質バイオマスのメリット

最大のメリットは、燃料と使用しても二酸化炭素の発生量を抑えられる特性があること。木質バイオマス燃料を燃やせば、もちろん化石燃料と同じように二酸化炭素を排出します。しかし、木が成長するとき吸収した二酸化炭素を燃やしたときに排出したと考えれば、二酸化炭素の量はプラスマイナスゼロとなります。つまり「伐って、使って、植える」というサイクルをきちんと繰り返せば、地球温暖化の原因とはならないのです。

厚岸町の木質バイオマス

厚岸町では、森林環境譲与税のほか国・道の補助金を活用して、重油の使用量が多い温水プールで、令和6年度中に重油ボイラーを木質バイオマスボイラーに交換し、令和7年度から稼働しています。

町有林の間伐材から作ったチップを燃料として活用することで、二酸化炭素排出量を削減します。さらには重油より安価であるため、厳寒期に閉館していた温水プールを通年開館することが可能となります。

施設内容

ボイラー設備	木質バイオマスボイラー301kw2台、蓄熱槽2台ほか各設備一式
ボイラー建屋	木造149.05㎡（機械室、サイロ室、チップ投入室）